

濟利會規則草案

4279



114
A4691



濟利會規則

第一條 會名ノ事

第一節 本會ハ人ヲ濟セ物ヲ利スルノ意ヲ以

テ濟利會ト稱スヘシ

第二條 資本ノ事

第一節 本會ハ發起人等資本ヲ料合シテ之ヲ

維持スルヲ以テ他ノ醵金ヲ要セスト雖モ有

志者ノ捐助ハ敢テ之ヲ辭セス

第三條 役員選任ノ事

第一節 發起人ハ創立ノ日直ニ其代人ヲ選ミ

之ヲ本會ノ幹事トスヘシ且此幹事ノ數ハ發

起人一名ニ付一員ヲ出スト多人ヲ出ストニ

大正十一年四月
大隈侯爵寄贈

日本銀行

拘ラス合シテ二十四名ヨリ少カルヘカラス

第二節 幹事選任ノ後發起人ハ別ニ一名ヲ選
ニテ會長トシ幹事ト合シテ常務委員ト稱シ
以テ會中一切ノ事務ヲ委任スヘシ

第三節 常務委員ハ其選任承諾ノ後直ニ書記
役會計課等ヲ選任スヘシ

第四節 常務委員ハ忠直ニ其任ヲ盡ス間ハ其
職ニ在ルヲ得ヘシ若シ辭職免職死去等ノ事
故ニ由リテ其負缺ノレトキハ現任委員ヲ發
起人ト協議ノ上直ニ他人ヲ選ニ之ニ充ツヘ
シ

第四條 役員事務分擔ノ事

第一節 本會ノ事務ハ之ヲ工業農業商業統計
經濟編輯會計ノ七課ニ分テ每課幹事二名書
記一名已上之ヲ擔當スヘシ

第二節 每課擔任ノ事務ハ左ノ如シ

○工業課

金石礦物等ノ産最産處並ニ其採出ノ便法其
使用製造ノ方法内外需用人造物品製作ノ便
法其形狀圖樣等改良ノ考案及輸出品增多ノ
方便等ヲ講求シテ其所見ヲ論述スルヲ任ト
ス

○農業課

五穀蔬菜等種藝培養并ニ其種質轉換改良ノ

方法蠶繭蜜蜂魚鳥獸畜等飼養蕃殖改良ノ方法棉花茶糖等糞培樹藝ノ良法等ヲ講求シテ其所見ヲ論述スルヲ任トス

○商業課

各地ノ大小商賈牙僧等ノ實況其贏利ノ割合銀行諸會社ノ實況商貨運輸ノ道路其便否及其賃格金為替荷爲替ノ實況貸借利子及各業得益ノ多寡各地物價ノ比例各地金銀通貨公債證書等流通存在ノ多寡及其價格内外貿易ノ實況内外商賈ノ習慣及其利病等ヲ講求シ其所見ヲ論述スルヲ任トス

以上各課擔當ノ科目ハ僅ニ其綱領ヲ掲クル

ノミ其漏ル所ノ如キハ時々會長ノ指示ニ從ヒ之ヲ講求スヘク且其所見ヲ論述スルニ於テ務メテ統計ノ數ヲ擧ケ下三課ノ考證ニ資スヘシ

○統計課

以上三課ノ査定スル所ニ就キ全國各業ノ統計同浮財實産ノ統計金石礦物及人造物品毎年出額ノ統計每歲田産收穫ノ統計職工勞作者ノ統計全國及局地人命ノ中數疾病疴弱廢人ノ統計各種人民物産費消力ノ統計及國力ノ統計ヲ作ルヲ任トス

○經濟課

已上四課ノ査定スル所ニ從ヒ財本ト勞カト
ノ關係ヲ詳明ニシ產物ノ費用ヲ算シ傭直就
直得利益ノ比例ヲ攷ヘ農工分業合力之急
要ヲ論シ多耕寡耕ノ得失ヲ究メ或ハ交易及
運輸ノ媒介即金銀紙幣公債證書為替約定證
書舟車機器ノ事等ヲ詳論シ各種ノ銀行人命
保險火災海上收獲保險ノ會社建築會社身元
請合會社等ノ事ヨリ備荒防歉ノ方法興業先
後ノ分別華士族授産ノ方策等ヲ講求シ其所
見詳論スルヲ任トス
本課ノ科目僅ニ其什一ヲ舉クルノミ猶時ニ
隨ヒ百般ノ良策ヲ廣求博採シ以テ世益ヲ計

ルヘシ

○編輯課

已上各課ノ講求論述スル所或ハ會議ニ於テ
議決スル所ヲ修飾編成シ或ハ人物傳ヲ作り
印刷發行シ且常ニ内外新聞雜紙等ヲ通讀シ
本會ニ益アル所ノ事ハ附箋シテ之ヲ各課ニ
配達シ又ハ會長ノ口授ヲ筆記シ會中一切ノ
書籍文書ヲ管守シ常會臨時會ノ議事ヲ筆記
シ内外往復ノ信簡ヲ作ルヲ任トス

○會計課

此課ハ又分ツテ出納計算ノ二課ト為ス
○出納掛ハ金銀國稅印紙郵便切手等ヲ管守

シ且其出納ヲ司リ其他器什購求營繕等ノ事
ニ注意シ計筭掛ニ照會シ會用ヲ缺カサルヲ
任トスヘシ

○計筭掛ハ一切出入金額其他出納掛ノ管守
スル所ノ物件出入ヲ詳ニ帳簿ニ記載シ且役
負月給旅費日當其他器什購求營繕等ノ仕出
ヲ作り且毎月末ニ會計月表ヲ作りテ之ヲ會
長委負ニ示スヘシ

第三節 已上各課擔任ノ役負ハ廣ク内國各地
方ニ求メ遠ク海外各國ニ探リ以テ其務ヲ致
スヘシ

第五條 役負權限ノ事

第一節 會長ハ本會ノ名ヲ以テ一切會中ノ事
務ヲ取扱フヲ得ヘク又分課ヲ定メ幹事已下
ニ分付シ其成績ヲ責ムルヲ得ヘシ

第二節 若シ幹事等擔任ノ事務ヲ舉ケル能ハ
サルトキハ會長其由ヲ發起本人ニ告ケ之ヲ
貶黜スルヲ得ヘシ

第三節 凡ソ金錢支出ノ事ハ會長及幹事三分
ノ二ノ協議ニ非レハ之ヲ處置スルヲ得ヘカ
ラス

第四節 書記役以下ノ黜陟罷任ハ會長ノ持權
ニ在ルヘシ

第五節 凡ソ本會ノ主義トシテ雜誌ニ掲載シ

或ハ世ニ示ス所ノ論說ハ皆會長ノ特裁ニ在
ルヘシ

第六節 會長書記役等ハ皆給料旅費日當等ヲ
受ルヲ得ヘシ

第七節 幹事ハ其三分ノ二協議ノ上本會規則
ヲ改正スルヲ得ヘシ

第六條 定會臨時會ノ事

第一節 常務委員ハ每月二回會議ヲ開キ各分
課ノ事業ヲ議題ヲ設ケテ討議スヘシ

第二節 右議題ハ擔任ノ幹事豫ノ講究查定ス
ル所ヲ編ンテ一篇ノ文トシ會議ノ日ヨリ五
日前ニ會長及各課ニ一通宛ヲ廻附シ置ク者

ヲ以テスヘシ

第三節 定會ニ於テ議決シ能ハサルヲアルカ
或ハ社負ヨリ建議アルカ或ハ本會ヨリ他ニ
諮問スルヲアル回答ヲ得テ議スヘキヲアル
時ハ臨時會ヲ開キテ之ヲ議スヘシ

第四節 凡ソ社負ノ建議或ハ他ヨリ回答ノ件
ヲ議スル時ハ其議題ノ立案者ハ議場ニ入レ
サルヲ法トス而シテ決議ノ後ハ其人ノ望ニ
ヨリテハ其始末ヲ報道スルヲアルヘシ
但シ立案者發議ヲ為サレ約束ニテ參場
ヲ乞フ時ハ時宜ニヨリ之ヲ許スヲアルヘ
シ

第五節 凡ソ定會ノ時日ハ主任幹事ヨリ議題ニ添ヘテ豫メ之ヲ報道スヘク臨時會ハ其議題ヲ各主任幹事ニ付シ其主任幹事ヨリ豫メ開議ノ時日ヲ報道スヘシ

第六節 凡ソ會議ハ參場議負ノ三分ノ二ノ同意ヲ以テ決議ト為スト雖モ本會ノ主義ニ協ハサル論說ハ會長ノ特裁ヲ以テ廢案ニ付シスルコトアルヘシ

第七節 會場ニ於テ辯論スルハ自由タリト雖モ失敬粗暴ノ擧アルヘカラス務メテ虚心平懷ヲ以テ相談スルコト心得ヘシ

第七條 社負ノ事

第一節 凡ソ本會ノ社負タラント欲スル者ハ其一個人タルト一團結ヲ為ス者トニ拘ラス常務委員三分ノ二ノ協議ヲ以テ之ヲ許スヘシ

第二節 入社ヲ乞フ者一個人タルトキハ常務委員一名ニ就キ申込ムヘク一團結ヲ為シタル者ナルトキハ其ト社或ハ一會ノ委任状ヲ携ヘテ其由ヲ本會ニ申込ムヘシ

但常務委員ノ紹介ヲ經ル者ハ紹介者其人ノ履歷書ヲ添ヘテ申込ムヘク又一團結ヲ為ス者ハ農工商會銀行其他理財商業等ノ事ヲ專務トスル者ニ限リテ入社ヲ許スヘ

第三節 入社請願ノ許否ヲ議スルハ定會ノ日
開議ノ前ニ於テスヘク登時意見ヲ述ル者ハ
言辭ヲ以テスヘシ

第四節 入社ノ許否ヲ決スルトキハ幹事ノ名
ヲ以テ請願人ニ報告スヘシ

第五節 入社ノ認許ヲ得テ社負トナル者ハ會
場ニ出テ論議ニ加ハルヲ得ヘシ

但本會ニ於テ秘密ヲ要スルノ事ハ常務委
員ノミニテ之ヲ議スルノ事アルヘシ

第八條 建議人等報酬ノ事

第一節 凡ソ社負タルト否ルトニ拘ラス本會

ニ建議シ或ハ本會ノ諮問ニ答フル所ノ論說

大ニ世益ニ資スヘキ者ハ常務委員協議ノ上

其立案者或ハ答辯者ニ相當ノ報酬ヲ為スヘ

シ

第二節 右建議或ハ論說ノ趣旨本會ノ主義ニ

合ハサルモ其カラ用フルト大ニシテ且實用

ニ適シ世益ニ資スヘキ者ハ同ク至當ノ報酬

ヲ為スヘシ

第九條 信印ノ事

第一節 本會ヨリ他ニ對セル契約及金銀ノ收

支等重要ノ事件ニハ會長及幹事ノ印ヲ捺ス

ヘシトス

第二節 尋常ノ輕事ハ會長ノ認可ヲ得テ幹事ノ印ヲ捺スヘシトス

第十條 雜誌出板ノ事

第一節 毎月定會ノ後編輯課ハ議定ノ論說ヲ雜誌ニ載セテ世ニ廣布スヘシ

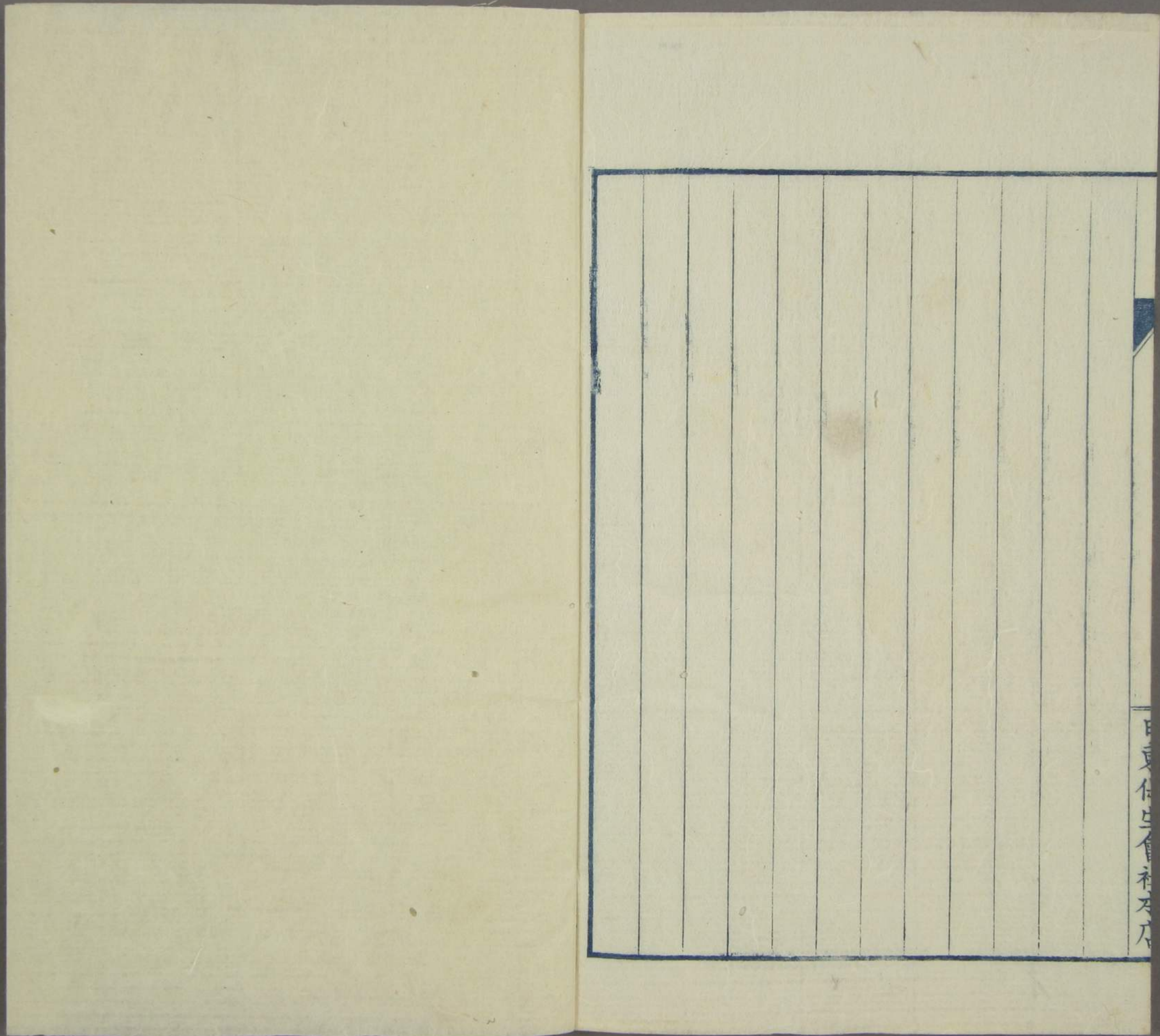
第二節 雜誌出板ハ毎月一回ト定ムト雖モ事浩漚ニ涉リ一會ニシテ議シテラサルカ講究全キニ至ラサルトキハ此限ニ非ス

第三節 雜誌ノ本篇ハ專ラ本會ノ社說ヲ載セ本會ノ主義ニ合ハサル要說及偉業人物傳等ハ附録ニ載セテ出板スヘシ

第四節 雜誌ノ定價ハ印刷ノ費用ヲ償フニ足ルヲ以テ度トスヘク發起人役負社負ニハ一部宛之ヲ白送スヘシ

第十一條 年報ノ事

第一節 本會ノ會計年度ハ毎年十二月ノ末日トシ此月ニ至レハ幹事中ヨリ檢算委員二名ヲ選ミ一切ノ會計ヲ檢査シ年報ヲ作りテ發起人ニ送致スヘシ



日本
會社
株式
會社

